

CTR NEWSLETTER

No.5 | September, 2020

CTR ウェビナーシリーズ開始

新型コロナウイルスCOVID-19のもたらしたパンデミックによる観光業界への大打撃に観光学研究センターとして世界に貢献すべく、CTRでは研究者・実務家によるオンラインセミナー（ウェビナー）「Wakayama-CTR Webinar Series 2020」の配信を開始しました。

「Tourism, Sustainability and Recovery: Asia Pacific Expert Outlook」をテーマに、世界の著名な研究者やアジア太平洋地域の観光研究を精力的に進めている研究者らの講演や議論を世界中と共有します。

CTR専任研究員のJoseph Cheer特任教授がモデレーターを務め、毎月、Zoomでのウェビナーライブ配信を行っており、過去の開催録画は和歌山大学公式YouTubeチャンネル (<https://www.youtube.com/user/wakayamauniv>) で公開しています（簡易翻訳字幕機能あり）。



また、講演資料（開催後1カ月間のみ）を含めたデータはCTRのウェブサイトからもアクセス可能で、授業で活用いただくことも願っています。

Topics

- ◆ CTR ウェビナーシリーズ開始
- ◆ CTR 紹介動画完成
- ◆ LinkedIn公式ページ開設
- ◆ 「日本版持続可能な観光ガイドライン」開発協力
- ◆ 研究コラム配信開始

CTR紹介動画完成

プロモーションビデオとしてCTRの研究員やスタッフ、活動を紹介するショートクリップを制作しました。



アジアにおける観光学研究を牽引していく機関として飛躍していくこと、そしてCTRが重きを置く観光発展への想いを込めました。また、世界に発信することを意識し、和歌山県の美しい自然や四季の移ろいもアクセントになっています。

和歌山大学公式YouTubeチャンネル (<https://www.youtube.com/user/wakayamauniv/>) で公開されています。ぜひご覧いただき、SNS等でのシェアをお願いします！



◆和歌山大学公式YouTubeチャンネル
QRコード

Webinar reports - From July to September

7月22日 'COVID: Travel and tourism'

講師：Brent W. Ritchie和歌山大学特別主幹教授（The University of Queensland）

パネリスト：Trevor Weltman氏（Chief of Staff, PATA）、永井 隼人講師（和歌山大学）

Ritchie教授による基調講演では、新型コロナウイルスによる国際観光への影響について概観し、特に被害の深刻な地域があることを取り上げ、その影響および回復の程度は一概ではないことを指摘しました。そして対策方法を挙げ、長期的視点で必要となるアプローチ

にも言及しました。続けて、PATAのWeltman氏はCrisis Resource Centerの紹介を通じて、SDGsの観点も踏まえた取り組みが重要であることを強調し、永井講師は日本のインバウンド観光の状況を紹介しました。パネルディスカッションでは視聴者からの質問に対して意見を交わし、トラベルバブルやマーケットのターゲティング戦略等に関する知見が共有されました。



8月19日 'Recovering sustainably, global lessons

for Japan's tourism industry'

スピーカー：Graham Miller和歌山大学特別主幹教授（University of Surrey）、

Rochelle Turner氏（Head, Research and Insight, MaCher）、

Xavier Font教授（University of Surrey）、加藤 久美教授（和歌山大学）



これからは持続可能性を念頭に新しい観光発展の方法が模索されるべきであるという議論の下、旅行者の需要とその把握、旅行目的地の状況について多方面から考察しました。世界的トレンドとして、パンデミックの体験から消費者や地域が力を持つようになり、ビッグデータで旅行者のニーズを捉える有用性が指摘されました。また、加藤教授により、観光庁の委託事業である「日本版持続可能な観光ガイドライン」発行プロジェクト及び日本のインバウンド状況が紹介されました。質疑応答では、SDGsを意識する重要性が強調された他、政府による業界救済や観光でのキャリアについて等、各スピーカーから多岐に渡って見解が示されました。

9月16日 'Tourism, sustainability and de-growth'

講師：Richard Sharpley和歌山大学特別主幹教授（University of Central Lancashire）

パネリスト：Muchazondida Mkono講師（The University of Queensland）

Sharpley教授が20年ぶりに同テーマで出版した自身の論文「Tourism and sustainable development: Exploring the theoretical divide: 20 years on」（Journal of Sustainable Tourism, 2020）を基に、従来の持続可能な観光開発の限界を指摘

した上で、脱成長の概念への移行を提起しました。さらに、Mkono講師は持続可能な観光における若者、特にZ世代の傾向と言動の矛盾を示唆しました。パネルディスカッションでは参加者から多くの質問が投げかけられ、両者とも脱成長は西洋の先進国の観点であることや、行動変容のためには強制力のある規制が必要であることを指摘しました。また、脱成長の実現にあたり、観光産業に依存する地域での適用やグローバルな合意形成の難しさも議論されました。



Upcoming Webinar

10月21日（水）17時～ 講師：James Higham教授（University of Otago）



CTR Activities

LinkedIn公式ページを開設

2020年7月に、CTRのLinkedIn公式ページを開設しました。CTRウェブサイトと並行して、最新のイベント情報やCTR研究員の出版情報、研究活動について発信していきます。ぜひ、ページのフォローおよび投稿のシェアをお願いします！



◆LinkedIn CTR Official Page

<https://www.linkedin.com/company/center-for-tourism-research>

研究ユニット改編



開所以来、CTRでは10の研究ユニットを組織し研究活動を推進していましたが、2020年4月に組織再編に伴い、3つの研究ユニットに改編しました。今後も共同研究や研究会等の活動は「経営 / Management」、「地域 / Community」、「文化・遺産 / Culture & Heritage」の各ユニットを軸に行っていきます。ユニットメン

バーや活動詳細は、CTRウェブサイト (<https://www.wakayama-u.ac.jp/ctr/research/units/>) からご覧いただけます。

TedQual認証取得&更新

2017年、和歌山大学観光学部がUNWTOの関連組織であるUNWTO Academyが実施する認証制度「UNWTO. TedQual (Tourism Education Quality)」の認証を取得しました。CTRのサポートの下、申請準備とTedQual認証のための100項目以上の厳しい基準をクリアし、国内では初めての取得となりました(当時)。その後、教育プログラムのさらなる改善や充実を図り、2020年3月、観光学部が同認証の更新を国内で初めて行うとともに、日本国内の大学院として初めて観光学研究科(博士前期課程)も同認証を取得しました。



◆UNWTO TedQual

<https://www.unwto.org/UNWTO-ted-qual>

◆和歌山大学観光学部・観光学研究科

<http://www.wakayama-u.ac.jp/tourism/>

◆和歌山大学国際観光学研究センター

<https://www.wakayama-u.ac.jp/ctr/index.html>

Upcoming Events

11月13日 2020年度CTR研究集会 (Zoomオンライン開催)

CTR研究支援プログラム採択プロジェクト3件の中間報告とCTR専任研究員による研究活動報告、観光学研究科学生による研究発表を実施する予定です。どなたでも視聴可能です。

12月6日 和歌山大学観光教育研究セミナー2020 Vol.1「スポーツツーリズム5～メガイベントが日本社会を変える～」 (Zoomオンライン開催)

2020年6月に開催予定でしたが、情勢を踏まえて延期となりました。オンラインで開催します。

基調講演講師：間野 義之教授(早稲田大学スポーツ科学学術院)

パネリスト：巽 樹理准教授(追手門学院大学)、仲伏 達也氏(株式会社三菱総合研究所)

※各詳細はCTRウェブサイトとLinkedInページでお知らせします。



CTR Researchers' Activities

「日本版持続可能な観光ガイドライン」開発協力

2020年6月29日、観光庁、およびUNWTO駐日事務所が「日本版持続可能な観光ガイドライン」を公表しました。これは、観光客と地域住民の双方に配慮し、多面的かつ客観的なデータ計測と中長期的な計画に基づく総合的な観光地マネジメントが重要となってきた中で、自治体や観光地域づくり法人（DMO）等が効果的で持続可能な観光地マネジメントを行うための指標です。日本の特性を反映したうえで、観光地向けの持続可能な観光の国際基準「GSTC-D（Global Sustainable Tourism Criteria for Destinations）」に準拠したものとなっています。本ガイドラインの作成には、本学観光学部の加藤久美教授をはじめとしたCTR研究員有志が関与するとともに、本学観光学部・観光学研究科の学生も協力しています。



また、加藤教授はUNWTO駐日事務所が2020年7月に設立した「APTECサステイナブルツーリズム推進センター」の委員も務めています。

研究コラム配信開始

CTR研究員や本学院生らによるコラムをCTRウェブサイトに掲載しています。最新の情報に基づく研究内容を、研究者だけではなく一般の方々にも発信していくことを目指します。特に日本を始めとしたアジア地域の観光研究や、観光とSDGsに関する研究に重点を置き、CTRのミッション推進に取り組みます。第1回は、CTR専任研究員Ricardo Nicolás Proganó特任講師が「The COVID-19 pandemic and religious travel in Asia」をタイトルとしたコラムを投稿しました。



Research Projects

2020年度科研費採択課題

2020年度科学研究費助成事業に、4件のCTR研究員研究プロジェクトが採択されました。 ※ () 内は代表者、【】内は研究種目

- Confronting difficult past: Dark Tourism development in Japan (Richard Sharpley特別主幹教授)【基盤研究(B)】
- ビッグデータの活用によるスマートツーリズム・デスティネーションの構築と価値共創 (佐野 楓 准教授)【基盤研究(C)】
- Analysis of tourism guiding in pilgrimage: Model for perception of role of guides (Ricardo Nicolás Proganó 特任講師)【若手研究】
- Attitudes of non-host city residents toward a mega-event during the pre-event stage: A longitudinal study (永井 隼人 講師)【若手研究】

2020年度CTR研究支援プロジェクト採択プロジェクト

CTR内部の競争的資金の位置付けとして、3件の研究プロジェクトが2020年5月に採択されました。 ※ () 内は代表者

- 都市間関係の新たな展開の探索：震災からの学びとパンデミック後の復興と持続へのチャレンジ (八島 雄士 教授)
- 地方誘客におけるDXと儀礼的暗黙値の影響についての研究 (木川 剛志 教授)
- 観光を含む広義の宇宙・天文教育についての基礎的研究 (富田 晃彦 教授)

CTR 研究員出版業績

CTR研究員の論文や著書等の業績をCTRウェブサイト (<http://www.wakayama-u.ac.jp/ctr/resource/publication.html>) で紹介しています。ご覧ください。

<編集・発行>

和歌山大学 国際観光学研究センター Center for Tourism Research

〒640-8510 和歌山市栄谷930 和歌山大学 西1号館1階

TEL: 073-457-7025

E-mail: info-ctr@ml.wakayama-u.ac.jp

Web: <https://www.wakayama-u.ac.jp/ctr/>